

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほっぷ和田		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 15 日		令和 7 年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 17 日		令和 7 年 2 月 22 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 5 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援や個別支援計画、活動プログラムに関しては回答して下さった保護者全員から一定の評価を得ている。支援の満足度が高い。	活動プログラムの計画立案は児童も参画し、5領域にも絡めながら固定化しないよう工夫している。支援計画における検討会議は密に行い、保護者への説明も意識している。また児童や保護者からの疑問、要望に対しては責任感を持ってレスポンスを早くするよう心掛けている。	引き続き、職員間の連携を維持し、レスポンスの質を高めほっぷ和田の長所を維持していく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	保護者の会は開催要望が少数意見として過去に挙がっていたが、大多数の保護者がそれを望まないため実施しないことを決定している。支援に対し、きょうだい間にも関わりがある状況であれば支援は行っているが、交流をメインとした支援は事業所側に時間的余裕もマンパワーも足りず今のところ予定はない。	きょうだい向けの交流よりも、進路について悩んでいる保護者が数多くいるため、成功体験を知る・聴くことなど学校とはまた異なったアプローチによる進路相談会は需要度が高いのでは。要望があれば実施する可能性はある。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	昨今のコロナ禍時の感染リスクや何か起きた際の責任の所在、児童の個人情報を守ることなど、クリアしなければならないハードルがあり、リスクマネジメントの観点からも交流活動は現段階において積極的に実施する予定はない。	コロナ禍前はほっぷ和田の卒業生が遊びに来たり、ボランティアとして活動してくれたことがあった。左記の課題要因が解消されるのであれば、また児童や保護者からのニーズがあるならば柔軟に対応し、受け入れや交流を検討する。
3			